

文理科学科通信

京都府立福知山高等学校

研究の達成感、会場の一体感

みらい学 研究発表会



11月15日(日)マリアージュ玉姫殿にて、みらい学研究発表会を実施しました。京都府教育庁指導部高校教育課 首席総括指導主事 斉藤和彦様、京都府中丹教育局指導主事 宮下 繁 様、地

元福知山市より、福知山市教育委員会教育長 荒木 徳尚 様をはじめ、多くの方を来賓としてお迎えし、教育関係者、中学生や保護者にも、多数お越しいただきありがとうございました。

た。

1年次の「みらい学I」において学習した様々な学問と、共通の課題研究を通して身に付けた分析力・仮説検証力・問題解決能力・プレゼンテーション能力を存分に活用し、「みらい学II」で、個別に設定した課題研究に取り組みました。それぞれの分野を専門とする本校の教員や大学教授より、個別指導を受けながら、授業や放課後の時間を利用して、インターネット、図書館等を活用したほか、現地調査などにより、情報収集を行い、可能な限り自分で理論を組み立て、研究の完成を目指しました。

今年度は、5名の生徒が研究発表、1名の生徒が体験発表を行いました。今年の研究発表では、発表者が参加者の皆様に言葉を投げかけたり、一緒に座禅やアロマテラピーを実体験す



るなど、会場の一体感を生かした発表の工夫もあり、一層の充実が図られました。また、文理科学科開設以来、毎年みらい学研究の基礎を築いていただいている神戸大学大学院農学研究科 教授 土佐 幸雄 氏より、研究発表に対して個別にコ



メントをいただいたほか、「研究に熱中すると、時間の経つことさえ忘れさせる醍醐味が感じられる。そのためには、自分の能力の奥にある潜在能力の殻を破ることが必要であり、高校までの学習はその基礎体力ともなるもので、重要である。」と激励をいただきました。

また、今年度、財団法人大学コンソーシアム京都のお取り計らいにより、みらい学IIを御指導いただいた、京都大学名誉教授・京都学園大学教授 谷 吉樹 氏、立命館大学准教授 小沢 道紀 氏、大谷大学・大阪大学 講師 本林 靖久 氏を代表して、谷 吉樹 教授からは、体験発表にも触れられ、研究を進めることの意義についてお話しいただきました。

「研究で得られた成果は、いつも：いつまでも真実とは限らない。永久の真理はない。現時点でどう考えるかが重要である。1年生諸君には、自然に恵まれ、文明・文化が脈々と続いている福知山丹波地方は地域に関連する研究テーマの豊富な地方のひとつである。福知山丹波に誇りを持ってテーマを設定してほしい。」との激励の言葉もいただきました。

今年度の研究活動でも、研究の方向性がみつからず、大きな壁に苦しむ場面も多くみられました。しかし、それを乗り越えた充実感と達成感と、この活動を通して身につけた研究手法や忍耐力が、必ず「みらい」を切り拓く大きな力となるものと確信しています。



みらい学Ⅱ 課題研究テーマ

研究発表

人が住む場所を求めて

金融危機の原因と未来

体験発表

狂犬病

―身近な存在における―

経済学における

心理的要因
(行動経済学)

研究発表

ツタンカーメン王に

ついて

秘められた二つの謎

商品ヒットさせるには

言語間の意味上の

移動について

外来魚の問題

福知山と太平洋戦争

福知山連隊と

現在の自衛隊

絵本を読み聞かせる

音楽療法について

ろう教育について

グリムとメルヘン

医療費の増大における

後発薬品の役割

タイムマシン

血液型と性格の関連

魔球

イチローについて

ホスピス



パラレルワールド

という可能性

インフルエンザの

流行と対策

サッカー 魔球の秘密

イムホテップ

医療分野で残した影響

古代エジプト人について

声・音の与える効果について

大陸移動説について

禅と何らか

Wormhole

研究発表



1929年世界恐慌と

2008年金融危機の

違いについて

超新星爆発

兵器と歴史

宇宙の未来

NEET社会

子供の心理学

若者を引き付ける

携帯電話

竹島 領土問題について

アロマテラピー

―香りが与える効果―

研究発表



将来にできるだろう

ナノマシンについて

東京デイズニージョット

成功の理由

神話について

生徒の感想から

(成和中学校出身)

まず全体を通して感じたこと

は発表の完成度だ。スライドな

どももちろん見る側がわかりや

すいような文字数などの工夫も

あったが、話し手が原稿をほと

んど覚えていたため、とても聞

きやすかった。

また果物の実物をもってきた

り、実際に禅を組んでみたり、

視聴者を惹き付ける工夫があっ

研究発表

成功の理由

神話について

―生徒の感想から―

(成和中学校出身)

まず全体を通して感じたこと

は発表の完成度だ。スライドな

どももちろん見る側がわかりや

すいような文字数などの工夫も

あったが、話し手が原稿をほと

んど覚えていたため、とても聞

きやすかった。

また果物の実物をもってきた

り、実際に禅を組んでみたり、

視聴者を惹き付ける工夫があっ

また、禅というのはどうして

も馴染みのうすいものだが、実

際にみんなに禅をさせるとい

う工夫はとても効果的だった。

さらに、とても社

会的な問題をわかり

やすくまとめ、スラ

イドも工夫があつて

さすが文理科学科と

思わせるわかりやす

い発表もあった。

今回の発表を聞いて

自分たちも来年に

はあのように発表を

するのだという楽し

みができた。これか

らの発表に先輩たち



